

# 日韓が対立する慰安婦問題

150781136 垣見 光佑

# 第1章 韓国における慰安婦の発生

## ▶ 第1節 従軍慰安婦とは

1) 日清戦争時、従軍慰安婦発生  
(1894~95年)

→政策的実施、南京大虐殺時 (1937年)

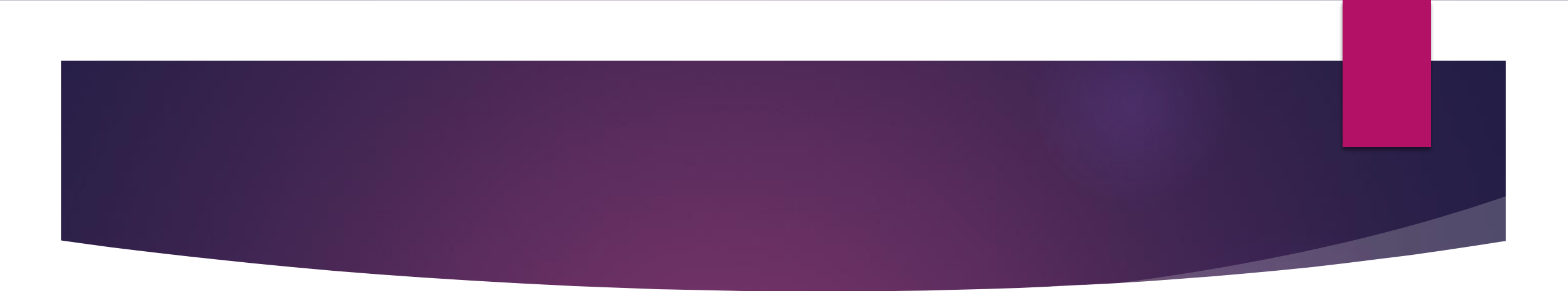
2) 従軍慰安婦、貧困層の娘多数

3) 兵70万に対し慰安婦2万

→兵35人に対し慰安婦1人

- 4) 日本人慰安婦、娼妓や芸妓出身
  - a) 「国のため、天皇陛下のため」  
→殺し文句で強制招集
- 5) 日本軍侵略地
  - a) フィリピン
  - b) 中国
  - c) 香港
  - d) ビルマ

etc...

- 
- 特に台湾、朝鮮半島から女性を連行
  - 6) 日本軍、慰安所をスムーズに設立
    - 公娼制度

## ▶ 第2節 公娼制度と慰安婦

### 1) 公娼制度、各国で導入

→戦争と緊密かつ相互補完的關係

### 2) 慰安所の設置

a) 国家関与の研究必須

b) 公娼制度についての再確認

### ▶ 第3節 朝鮮人女性戦時導入

#### 1) 朝鮮人慰安婦の発生

a) 1910年～1945年

b) 慰安婦の要員は約20万人

c) 強姦防止、性病蔓延の防止

#### 2) 強制連行

a) 戦時中、慰安所以外の娯楽無し

→ 1人に対して30人～40人の相手

## 第2章 韓国従軍慰安婦問題の国際化

### ▶ 第1節 慰安婦問題の国際化

1) 1992年以来、各国で強制売春が判明

a) 朝鮮半島、台湾、中国、フィリピン

→ 真相究明と謝罪、補償を要望

b) 日本政府、見舞金や生活支援案の計画

## ▶ 第2節 従軍慰安婦問題アジア連帯の結成

1) 1992年、ソウルにて会議

→韓国、台湾、日本など6ヶ国参加

2) 従軍慰安婦問題

→今現在の問題



### ▶ 第3節 慰安婦問題の第3の罪

- 1) 1993年日本政府、慰安婦の軍関係を容認
  - a) 謝罪の表明
- 2) 第1の罪と第2の罪
  - a) 朝鮮民衆に対して植民地支配
  - b) 戦後46年間、否認

### 3) 第3の罪

#### a) 罪の容認

→補償や謝罪など否定

#### b) 委員会の設立必要

→補償立法の設立要求

# 第3章 日韓の主張の対立とアジア女性基金

## ▶ 第1節 日本側の主張

1) 1991年金学順が提訴

a) 元慰安婦

b) 日本の最初の慰安婦裁判

2) 河野談話

a) 軍当局の慰安所関容認

b) 慰安婦募集の甘言、強圧の容認

## ▶ 第2節 アジア女性基金の償い

1) 1995年、アジア女性基金発足

a) 政府事業計画

b) 二大事業

→ 償い事業、女性尊厳事業

c) 国民からの寄付

→ 合計5億6500万円

## 2) 1995年、国連主催の世界女性会議

a) 戦時中の慰安婦に関するクマラスワミ報告

b) アジア女性基金、和解の第1歩

i) 慰安婦たちの状況の指摘

→ 日本政府に補償を要求

## ▶ 第3節 韓国側の主張

### 1) 慰安婦問題

a) 残虐、不実、傲慢の象徴

b) アジア女性基金 = 日本政府のごまかし

### 2) アジア女性基金

a) 日本の公式な法的措置の否定

b) 道義的補償の受け取り拒否

c) 2002年、活動終了

## ▶ 第4節 政策の評価

### 1) アジア女性基金の正誤

a) 国際社会における日本の下落阻止

b) 金銭的な償い

### 2) 問題解決

→ 法と道義のバランス調整必要

## 第4章 慰安婦問題の混乱

### ▶ 第1節 慰安婦問題の日韓合意

#### 1) 2015年末日韓合意

- a) 日本政府、関与の容認、謝罪の表明
- b) 韓国政府設立の財団に10億円拠出
- c) 日韓関係の改善



## ▶ 第2節 和解・癒やし財団の設立

1) 2016年発足

a) 日本政府10億円の拠出

b) 46人のうち31人への現金支給決定

→ 1人当たり1億ウォン (約1千万)

### ▶ 第3節 慰安婦日韓合意に新たな火種

#### 1) ソウル日本大使館前の少女像

a) 慰安婦を象徴

b) 日本政府、日韓合意の下で移設要望

#### 2) 2016年、釜山日本総領事館前に設置

a) 強硬な市民団体、世論の象徴

## ▶ 第4節 和解・癒やし財団の解散

1) 2017年、理事長金兌玄の辞任

a) 同年、民間メンバー5人の辞職

b) 運営費、維持費のみの支出

→ 活動不可能により2018年11月21日解散

## 2) 日本政府

a) 国際約束の破綻

→ 両国間関係に非難

b) 日韓関係の悪化

c) 解散方針の撤回要求

d) 合意の誠実な履行の要求

# 今後の展望

- 1) 慰安婦問題における責任
  - a) 日本の責任容認
  - b) 韓国の責任容認
- 2) 和解
  - a) 日韓関係の信頼回復
  - b) 友好関係回復